

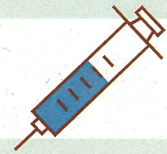
ほうしん 带状疱疹ワクチン接種費用の一部を助成します

令和5年4月から、「带状疱疹ワクチン」の接種費用の一部助成が始まりました。
带状疱疹ワクチン接種は、予防接種法に基づかない接種（任意接種）です。接種を希望する方は、予防接種による効果と副反応をご理解のうえ、接種をお願いします。

1 対象者

接種日に満50歳以上のかた

※ただし、令和5年4月1日以降の接種に限ります。



2 ワクチンの種類と助成額

带状疱疹ワクチンは2種類あります。接種回数や方法等が異なりますので、かかりつけ医等とよくご相談ください。

	生ワクチン	不活化ワクチン
助成額	4,000円	1回あたり4,000円
助成回数	1回	2回 (2か月の間隔で2回接種します)
接種方法	皮下注射	筋肉注射
接種費用	7,000～10,000円程度	1回あたり20,000～25,000円程度
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 接種費用は医療機関によって異なります。詳しくは接種する医療機関にお問合せください。 助成を受けて接種できるワクチンは<u>どちらか1種類</u>です。また、助成を受けられるのは<u>生涯1度限り</u>です。 	

3 助成方法

- ①任意の医療機関で予防接種を受け、接種費用をお支払いください。
- ②下記のものを持参のうえ、健康福祉課健康増進グループ（7番窓口）でお手続きをお願いします。
 - ・領収書（原本）
 - ・接種済証の写し（ワクチンの種類、接種日、医療機関名の記載があるもの）
 - ・振込先の口座が確認できるもの（通帳など）
- ③お手続き後、助成金額を指定の金融機関の口座に振り込みます。

4 申請期限

接種日から1年以内です。お早めに申請ください。

お問合せ先

川島町健康福祉課 健康増進グループ
☎ 049-299-1758（直通）

带状疱疹とは

带状疱疹は、水ぼうそうと同じウイルスで起こる皮膚の病気です。発症すると体の片側に水疱（水ぶくれ）を伴う紅斑（赤い斑点）が带状に広がります。症状の多くは上半身に現れ、顔面、特に目の周りにも現れることがあります。

皮膚症状が治った後も带状疱疹後神経痛（PHN）と呼ばれる長期間にわたる痛みが続くことがあります。50歳以上では、带状疱疹を発症した人の約2割がPHNに移行すると言われています。

加齢、疲労、ストレスなどによる免疫力の低下が発症の原因と考えられ、80歳までに約3人に1人が带状疱疹を経験すると推定されます。

带状疱疹ワクチン

ワクチンを接種すると、ウイルスに対する免疫力が強化されます。ワクチン接種は带状疱疹を完全に防ぐものではありませんが、発症を抑える効果が期待できます。また、带状疱疹ワクチンは2種類あります。

	生ワクチン	不活化ワクチン
種類	弱毒性水痘ワクチン 販売名「ビケン」	乾燥組換え带状疱疹ワクチン 販売名「シングリックス」
発症予防効果	・50～59歳以上で69.8% ・60歳以上で51.3% ・接種から5年間発症予防効果が持続	・50歳以上で97.2% ・70歳以上で89.8% ・接種後10年で73.2%
带状疱疹後神経痛の予防効果	60歳以上で66.5%	70歳以上で85.5%
副反応の出現頻度	50.6%に副反応あり	局所の副反応は80.8%、全身性の副反応は64.8%
接種できない方	・水痘ワクチンにアレルギーがある ・ステロイド剤や免疫抑制剤などの治療を受けている	带状疱疹ワクチンにアレルギーがある

出典：厚生労働省 厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会ワクチン評価に関する小委員会資料
弱毒性水痘ワクチン「ビケン」及び乾燥組換えワクチン「シングリックス」添付文書
2022年度版予防接種に関するQ&A集（一般社団法人ワクチン産業協会発行）

お問合せ先

川島町健康福祉課 健康増進グループ
☎ 049-299-1758（直通）